

災害経験の町として

特集

被災地を支援

町では、3月11日に発生した東日本大震災による被災者への支援を実施するため、同18日

洞爺湖町東北地方太平洋沖地震支援本部を設置し、救援物資の発送、募金活動への協力、人的支援及びその他支援を行ってき

ました。町民の皆さんのご協力で、救援物資については、158件のご協力をいただき、被災地宮城県へ自衛隊、北海道を通じて搬送いたしました。

見舞金としては、洞爺湖町として、被災地に1,700万円の災害見舞金を贈ることにしました。内訳は、岩手県、宮城県、福島県に各300万円、青森県、茨城県に各100万円、2000年有珠山噴火災害で支援をい

ただいた宮城県仙台市、亘理町、山元町など10市町に計600万円です。

町内27カ所の施設に募金箱を設置し、そのほか自治会を經由して封筒募金へのご協力をしていたいただきましたが、募金箱に関しては、4月末日で一旦終了いたしました。

義援金の受付は、今後洞爺湖共同募金委員会（事務局・社会福祉協議会）と日本赤十字社洞爺湖町支部（事務局・町健康福祉課）で、引き続き9月末まで受け付けます。被災地では、未だに避難所での生活をされている方々が多くおり、自宅へ帰ることが出来ない状態であることから、洞爺湖温泉を中心とした、旅館・ホテル14カ所で1,000

0人規模の被災者を受け入れる体制をとっています。その時にお手伝い頂けるボランティアの方を募集しています。協力していただける方は、申請書により町へボランティア登録をしてください。

町としては、今後も有珠山噴火災害を経験したまちとして、出来ることを被災地に支援していきたいと考えています。

災害ボランティア募集

被災者を受入れる際にお手伝いをしていただくボランティアを募集します。

詳しくは、企画防災課 ☎74-3004 / www.town.toyako.hokkaido.jp

震災で被害を受けたホタテの稚貝をカゴから取り出す作業をする組員ら